富岡・エコ・広報

（第22号）

発刊日 2016年 9月吉日

発行元：富岡地区環境推進員協議会　発行責任者：塩谷一夫
事務局：富岡まちづくりセンター
http://www.town-tomioka.click/kankyo/

富岡地区は中富、十四軒、フラワーヒル、神米金、所沢新田、北田、岩岡、三商北中、向陽ハイツ、下富、武野台、ネオポリス、郊外マンション、さつき台、上岩岡、北中、東海、エステシテイの18地区で構成されています。

巻頭言

富岡地区環境推進員協議会　会長　塩谷　一夫

平成28年度、「富岡地区環境推進員協議会」の年５回開催予定の「理事会」の運営理念、方針、及び、当該「環境協議会」の、今年度の重点方針に就き、下記の通り、宣言致します。尚、本件、当該「環境協議会」の総会が、５月14日、開催されており、その席上でも、高らかに宣言済みでもあります。

1.「理事会」運営に関わる理念、方針

思いやりの心を以って、前向きに、明るく、且つ、楽しい時間を共有する。理念、方針で当該「理事会」の運営に、当たり度、思います。

2. 今年度の重点方針

各理事による「3分間スピーチ」を通し、各自治会の問題点、諸施策を把握、各理事が、それらを共有する事により、各自治会のジャンプアップに繋がれば、大いに意味があります。

所沢市の環境問題の一つに「地球規模で環境問題」を考えるとありますが、これらの大きなテーマは、市政、県政、国政にお任せし、当該「環境協議会」として、より卑近な「テーマ」に絞り込み、問題点の解決に向いたく考えます。

例えば、各自治会に設置されている「ごみ集積所」の運営、管理の次元に絞り込み度。より具体的に言えば、「カラスの被害予防」、「ごみ選別のルール、エチケットの徹底」と言った、より卑近な環境問題の解決の為、「メス入れ」を致し度。「富岡地域づくり協議会」等、諸団体の皆様と連携、一般住民の皆様に対し、総合的に、貢献する事を祈念しております。

3. 今後に向けて

加えて、富岡地区「まちづくりセンター」とも、問題点を、共有、解決に向け、注力致し度。住み良いまち、綺麗なまち、生き生きとした「コミュニテイタウン」を目指して。

●昔のエコアイディアを活かす

武野台自治会環境推進員　元田 タキ子

最近は世の中の温暖化が進み、冷房設備がないと生活出来ない時代となりました。昔の人は暑さを防ぐためにいろいろ工夫をしていました。例えば直射日光をさけるため「朝がお」や「にがうり」の日除け、「よしず」や「すだれ」、風鈴の音により涼を求めたりしていました。今でも立派なエコ対策となっていますので、武野台自治会の中を探してみました。

【写真①　にがうりの日除け】

① にがうりの日除け

空地にソーラー発電設備が出来その反射熱がある家では窓に「にがうりの日除け」を活用しています(写真①)。塀に沿って40㎝間隔で６本植えています。にがうりは害虫に食われることもなく育てやすいとの事です。またカボチャを垣根にはわしているお宅もありました(写真②)。

【写真②　カボチャの垣根】

② ゴーヤの調理方法

【写真③　調理例】

緑の部分をおろし金ですりおろします。茶コシでしぼった汁だけをコップに1cm位入れ、冷えたサイダーをコップ１杯そそぎ混ぜて飲むとにが味が少なくなります。輪切りにしてワタを抜き天ぷらに揚げるとサクサクと歯ざわりが良く食べやすいです。お試し下さい。(写真③)

すだれに風鈴も情緒があり心を涼しくしてくれます。しかし音が近隣の迷惑にならないように注意して下さい(写真④)。

【写真④　すだれに風鈴】

エコ意識を持って探せばまだまだいろいろ役に立つことがあると思います。

◆郊外マンションの環境美化と花と緑のオアシスづくり

郊外マンション自治会環境推進員　松田 順子

私は、前年度に引き続き環境推進員をさせて頂いております。

郊外マンションにはA～K棟の11棟あり、現在の世帯数は303世帯となっております。

マンションの真ん中には、平成16年4月に北野下富線の道路が開通。道路の開通と同時に新しく歩道が生まれました。

この道路（歩道）に沿って、横片側幅40ｃｍ×110mの空地が生まれました。この空地を花壇として利用し、所沢市が推進する「花と緑のオアシスづくり」を行って、12年になります。

今年の春に　満開になったチューリップのお花見をしました。

今現在は、ブルーサルビア150株、マリーゴールド105株、オキザリス、おしろい花ｅｔｃ、いろいろ咲いております。

私事ですが、新潟の実家の川岸では、夏になると、ピンク、赤、黄色の「たち葵」が咲いて子供の頃からとても好きでした。

「ゆるボラ（マンションのゆるいボランティアメンバー）」の２人が実家にいる兄からもらった種を大切に育てて、三角地帯に苗を植えした。草むしり、水やりと大変ですが、この苗も花が咲きだしました。

この夏の花たちが終わったら又、土を掘りおこして、新しいチューリップの球根、1,300球を植えて、この歩道を通る方たちに心地良い気持ちになれたら･･･。

「ゆるボラメンバー」８名と、マンションの居住者の方たちの協力で、楽しく活動していきたいと思っています。

【立派に育った「たち葵」】

【記念写真：郊外マンションの方の集い】

◆視察研修（８月９日）
入間市博物館、県立茶業研究所、桜山展望台

富岡地区環境推進員協議会　会長　塩谷　一夫
十四軒自治会環境推進員　助川 正

【茶業研究所で新種の開発を見学】

平成 28 年度、春の視察研修先として、地場産業として誇れる本場の「狭山茶」の生産現場、及び、関連施設を訪問。

【同所にて製茶までの工程説明を受ける】

８月９日、当該、協議会の理事及び環境推進員の 16 人のデレゲーションで、知識の吸収だけでなく、参加各位の親睦にも繋がった事。

そして、アテンド役を担って戴いた熱心な事務局の応対に就き、好評であった事を付記致します。

素人目には、狭山市で産出される「お茶」が狭山茶かと思っておりましたが、入間市、狭山市、所沢市などの埼玉県下の広域地区から産出される「お茶」が｛狭山茶｝のブランドである事を知りました。

先ず、「入間市博物館」を訪問。茶業の由来などを中心とした「博物館」は、埼玉県下、唯一である事、加えて、狭山丘陵を背景とした雑木林、希少動物、オオタカ、ムササビなどが、飛翔している展示などは、貴重なものとして、印象深いものでありました。

「お茶」の作り方、「飲み方」等の薀蓄も参考になりました。次いで、訪問した「県立茶業研究所」において、その品種改良の為、30 年の単位で、地道に、且つ、粛々と、その任に当たられている県職員の真摯な姿に頭が下がる思いが致しました。

引き続き、実施された「質疑応答」形式のミーティングにおいて、熱く、且つ、真面目、真剣で素晴らしいものであった事、付記致し度。

【桃山展望台より】

【桃山展望台より】

最後に、訪問した「桜山展望台」(189 メートル)から、東京ドーム、85 個分に相当する広大な入間市の茶畑が一望出来るだけでなく、狭山丘陵、所沢市の高層ビル群が見られ、桜山展望台の近くにある「入間市農村環境改善センター、駐車場」にて、現地解散。

日常ではあり得ない貴重な経験を通し、充実感に漲った一日を過ごす事が出来た事を素直に喜びたいと思います。

●下富自治会における環境美化の日の活動

下富自治会環境推進員　山崎 和正

５月 29 日に下富自治会で、春の「環境美化の日」の活動として清掃活動が行われました。大人 43 名、子供 20 名の参加がありました。下富子供会の協力があり多くの小学生に参加していただきました。

暑い日になりましたが、皆さんには積極的に取り組んでいただけました。

度々清掃活動に参加して思うことは、ゴミが捨てられているのは人の目の着かない所が多いということです。

家の少ない道路の傍に多く捨てられています。

私の家では、道路に接した山林があります。時々ゴミを集めるのですが草が伸びてくると殊更多くゴミが捨てられているように感じます。

草刈りを怠ると余計な労力が必要になります。ゴミを捨ててしまう人が減ることを願います。

清掃活動の参加者も、小学生が多く参加してくれているので、今後中高生になっても継続して出てもらえるような仕組みがあればと考えます。

継続して参加することによりゴミを道端に捨てる人にはならないと思います。

何かいい仕組みを知っている方がいらっしゃれば教えて頂きたいと思います。

ゴミが減ることが一番ですが、今後も清掃活動を少しでも効率よくできるように考えつつ、参加していきます。

◆「ゴミ拾いで小さな満足」歩きたばこ等の防止啓発キャンペーンに参加して

中富地区環境推進員　中村 幸雄

環境美化の一環として、「歩きたばこ等の防止啓発キャンペーン」が七月一日に行なわれました。今回は、新所沢駅東口から伸びる商店街に捨てられているタバコの吸い殻を拾い集めるのと、咥えタバコ禁止を謳ったポケットティシュー配りでした。

梅雨の真最中のこと、天候が気になりましたが、それほど暑くもなく、多少の風が気持ちいい好天に恵まれました。直前に開始時間が一時間くりあがり、慌てましたが、二十人を超える人達が参加し、環境美化に対する意識の高さがうかがえました。

駅東口から突きあたりまで、約二百メートルほど真っ直ぐに伸びる道の左を一列になって、吸殻にとどまらず、目についた小さなゴミを拾っていきます。

数人の参加者は、「ゴミ拾い用のハサミ」を持参する方がいて、馴れを感じさせられました。これならいちいち腰を深くかがめなくていいのでラク。とても参考になりました。

ついでに駅前のバス停附近に生えている雑草も引き抜き、ゴミ拾いは終了。

続いて、通行する方々に、ティシューと欲しい方に吸い殻入れをもらっていただきました。

最後に記念撮影（記念かどうか不明）そして、ペットボトルのお茶を戴いて帰路へ。

大したことをした訳ではないが、ちょっと清々しい気分でありました。

ただ気になったのが、ゴミ拾いの行進が左側通行だったこと。駅にむかって右側を通っている生徒のなかを強引に突き進んでいくのは、いかがなものか？　右側から始めても問題はないと思うのですが……。

●「もったいない市」に参加して

フラワーヒル自治会環境推進員　金子 博

今までフリーマーケットやバザーなどとは本当に縁のない私でしたが、6月5日（日）に中富南コミュニティセンターで開催された、「もったいない市」の店番に１時間従事することを仰せつかりました。

私が担当する時間は開店後間もない時間帯でしたので、献品される用品の受け入れが主な作業でしたが、その間に興味を持った事が多々あります。

品物をお持ち下さる方、掘り出し物を見つけて持ち帰られる方、大方が女性でしたが、品物を持ち帰られる男性や男性のグループはおいでになりませんでした。

献品としてお持ちになった和服への思いを、一緒においでになったご家族にひとしきりお話しになって帰っていかれた、老婦人。

食器をゆっくり見て回り、数枚の皿を大切そうに持ち帰られた、幼い子供さんとこられた若いママさん。

婦人物の衣類をゆっくり丹念に見て回り、数着を嬉しそうに持ち帰られたご婦人。

皆さん物を大切にし、物に新しい命を吹きこむことができる方たちなのだと思いました。

そして、帰りがけ少し嬉しい気持ちになっている私がいました。

次回の「もったいない市」の開催日
日時：10月23日（日曜日）
場所：中富コミュニティセンター

～編集後記～

気が付いたら今年も残り３ヶ月半となりました。この紙面が皆様に届けられる頃は、暑さも和らいでいることでしょう。

８月22日、所沢市では、台風９号の影響により、１時間の雨量が76.5mmという観測史上１位を更新する記録的な大雨に多くの被害がありました。川沿いだけでなく、水はけの悪い場所においては、床上・床下浸水や道路の冠水などの影響が出ました。被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。

ここ数年、気象に関わる天災が増えているように感じます。私たちは、より良い地球環境を未来に残さなければならないと感じる今日この頃です。

「富岡・エコ広報」はインターネットから閲覧ができます。
http://www.town-tomioka.click/kankyo/

（上岩岡環境推進員　田村幸弘）